

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者又は代諾者（保護者等）に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	□唇裂・□蓋裂児出生に関する実態調査		
② 実施予定期間	承認後～ 2021年 3月 31日		
③ 対象患者	2019年1月から12月までの1年間に出生し、□唇裂・□蓋裂の診断で当科を初診した患者さん		
④ 対象期間	2019年 1月 ～ 2019年 12月		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	形成外科		
⑦ 研究責任者	氏名	林 稔	所属 形成外科
⑧ 使用する資料等	診療情報等より下記事項を調査します。 各症例の医療情報（生年月日、裂型、患側、性別、出生時体重、合併奇形など）		
⑨ 研究の概要	一般社団法人日本□蓋裂学会では、学術調査委員会（以下、□蓋裂学会）の高木律男委員長（本研究全体の研究責任者）が中心となり、「□唇裂・□蓋裂児出生に関する実態調査」の計画が進められています。これに関して、聖マリア病院形成外科は調査協力機関として準備を行っています。概要は、過去に当科を初診した患児およびそのご家族を対象に、後方視的調査およびデータ収集を行うものです。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を守るために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
⑬ 知的財産権	日本□蓋裂学会に属します		
⑭ 研究の資金源	日本□蓋裂学会学術調査委員会の研究費を使用します。		
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。		
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 形成外科 林 稔		
	電話	0942-35-3322（代表）	